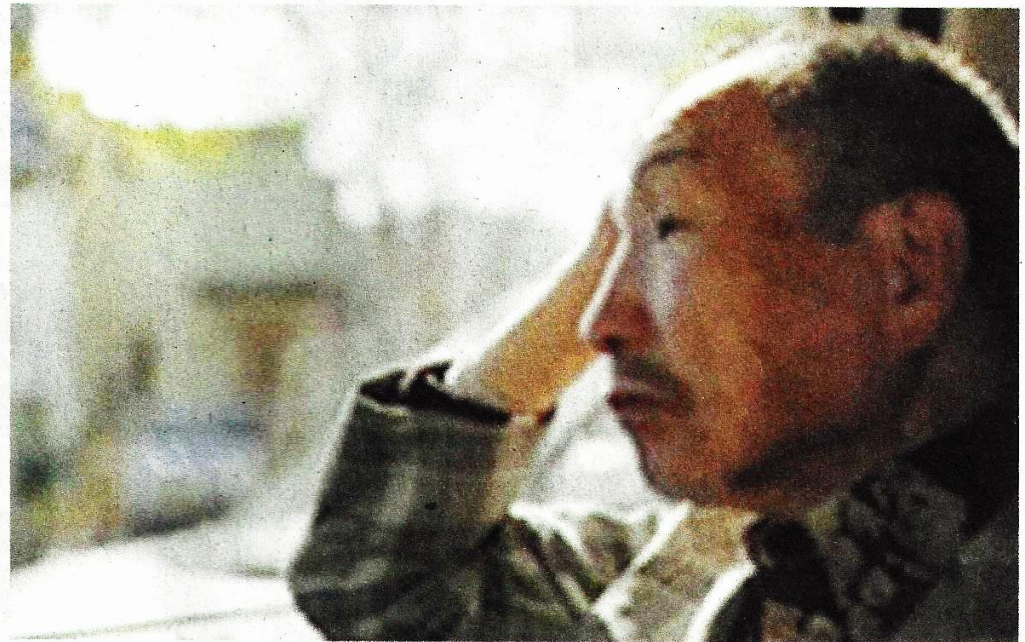


釈放後の袴田さん 日常を紹介

映画「夢の間の世の中」完成

静岡地裁の再審開始決定で昨年3月に釈放された袴田^{はかまだ}巖^{いわお}さん(79)＝浜松市＝の日常を撮ったドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」が制作された。巖さんが新たな生活を次第に受け入れていく様子を描き、逮捕から釈放までの48年間の重さを浮き彫りにした。



袴田巖さんが登場する映画のワンシーン
＝「映画『袴田巖』プロジェクト」提供

48年間の死の恐怖浮き彫り

釈放の三カ月後に始まった姉秀子さん(ハコ宅)での生活などを約七十日間追い、百十九分にまとめた。

死刑執行におびえ「自分の世界」(秀子さん)を創り出した巖さんには拘禁反応が残る。拘置所の独房でしたように部屋をぐるぐるさまよひ、秀子さんと会話がかみ合わない場面も。「私は権力者として自由だ」といった言葉も続く。

一方、ボクシング観戦で「リングは血が躍るんだなあ」と話し、親戚の赤ちゃんを抱いて幸せそう

な表情を浮かべ、買い物や散歩に出掛けるなど、徐々に暮らしに慣れて、楽しむ様子も伝えている。

金聖雄^{キムシウ}監督は「四十八年間の死の恐怖を乗り越え、釈放された。それでも人は生きる方向に向かっている。巖さんの存在自体が言葉にならないメッセージを発している」と話している。

今月十日に東京都内で試写会があり、鑑賞した秀子さんは「巖の表情をすっかり捉えて素晴らしい」と喜んだ。関東での一般公開は来年二月二十七日からポレポレ東中野(東京)で。